

キーワード(Vol.)	関連キーワード
	<p>サジェストKW 人事の転職 3,600 人事未経験 720 人事未経験 転職 590 人事未経験 求人 590 人事転職理由 140</p> <p>再検索KW 人事 未経験 難しい 人事 未経験 30代 人事 未経験 20代 人事転職 難しい 未経験から人事 志望動機</p> <p>共起語 経験 業務 スキル 採用 企業 転職 人事 未経験 キャリア 評価 入社 募集 企画 職種 研修 教育 仕事 求人 人材 面接</p>
人事に転職未経験(20)	掲示板サイト
参考:Yahoo!知恵袋/教えてgoo/Twitter/ガルちゃんなど	
<ul style="list-style-type: none"> ・人事事務に向いている人柄・未経験でも持っていたら有利な資格 ・未経験の人事へ転職された方の前職は、どのような方が多いのでしょうか ・人事系のかたのやりがいなどはなんでしょうか？ ・人事に異動になった時もしくは人事未経験で転職した時に最初に困ったことがある方いれば教えてください ・人事に向いている人や仕事内容、大変なこと 	
検索上位コンテンツ	
未経験から人事になるには？ 転職成功のポイント マイナビ転職	
【人事の転職】未経験者・経験者別のポイントや求人情報、平均年収、志望動機など 管理部門(バックオフィス)と土業の求人・転職ならMS-Japan	
未経験で人事職に転職するのは可能？具体的な方法と考え方を紹介	
人事への転職 必要な資格とスキルは？未経験でも大丈夫？ 【パソナキャリア】パソナの転職エージェント	
未経験でも人事へ転職できる？難易度や志望動機例を徹底解説！ すべらない転職	
想定読者・悩み	

【想定読者】
年齢:20代~30代
性別:男女
職業:未経験者
居住地:都市部
家族構成:独身・既婚
趣味:読書・旅行・スポーツ
価値観:人の成長に携わりたい、企業の課題解決に貢献したい、安定した職に就きたい

【顕在ニーズ】

人事職の仕事内容を知りたい
人事職への転職に必要なスキルや経験を知りたい
人事職への転職活動を成功させるための方法を知りたい(資格や対策)
人事職への転職経験がある人の特徴や前職、やりがいなど

【潜在ニーズ】

人の成長に貢献できる仕事がしたい
企業の戦略的な役割を担いたい
ワークライフバランスを実現したい
新たなキャリアを築いて安心したい(挑戦したい)

この記事が目指すゴール

人事への転職を未経験からでも可能と思ってもらい、無料診断や転職エージェントに登録すること

タイトル案

【プロが断言】未経験でも人事に転職できる！必要な対策やスキルを徹底解説
ディスクリプション(120文字程度)

未経験でも人事に転職することは可能です。しかし、求人選びや選考対策に難しさを覚えるでしょう。本記事では、未経験から人事に転職するための方法や必要なスキル、注意点などを解説します。採用に挑戦してみたいと思っている方必見です。

記事URL(リライトの場合は記載)

【記事構成案】

■【結論】未経験でも人事に転職できる

■ 人事の業務内容とやりがい
▼人事制度設計・運用
▼人材採用
▼研修制度構築
▼労務

■ 人事に向いている人の特徴
▼人との関わりが好きな人
▼客観的な視点で判断できる人
▼相手の立場から考えられる人
▼求職者のキャリアプランと真摯に向き合える人
▼ストレス耐性が強い人

■ 人事に必要なスキル
▼論理的思考力
▼プレゼンスキル
▼質問力
▼傾聴力
▼コミュニケーション能力

■【人事経験者が語る】未経験から人事に転職するための方法
▼スキル・資格を取得する
▼未経験可能な求人にエントリーする
▼書類・面接対策を徹底する

▼転職エージェントから求人紹介を受ける

- 未経験から人事に転職する際におすすめの転職エージェント〇選
- 未経験から人事に転職する際の注意点
- 未経験から人事に転職するには理解力とアピール方法が鍵

■→h2、▼→h3、●→h4

(導入文)

【プロが断言】未経験でも人事に転職できる！必要な対策やスキルを徹底解説

「人事に転職する方法を知りたい」
「未経験からでも人事に転職できる？」
「人事はどのような仕事内容か知りたい」

このような疑問や悩みを抱えている方も多いのではないでしょうか？

人事は企業の成長に欠かせない、人材の確保を担う人気の職種です。そのため、未経験からでも転職したいと考える人は多いでしょう。

そこで本記事では、未経験からでも人事に転職できる理由や向いている人の特徴、転職を成功させるための方法などについて解説します。

未経験で人事への転職を目指している方は、ぜひ最後までご覧ください。

■【結論】未経験でも人事に転職できる

結論、人事への転職は未経験からでも十分可能です。

なぜなら、今後人事の重要性が高まり、多くの企業が人材の確保に動くと考えられるからです。

労務行政研究所が実施した「[人事パーソンが考える『人事の課題と未来』アンケート](#)」によると、国際化や障害者雇用など、働き方の多様化が進み、人事に求められる仕事の幅が広がると予想されています。

さらにコロナ禍に採用活動を止めていた企業の採用再開により、人材確保を担う人事を募集する企業は少なくありません。

現在dodaに出ている人事の求人数は3万件以上となっており、採用の枠も広がっています。



はたらく今日が、いい日に。

doda by PERSOL 人事の転職・求人情報を掲載中

求人を探す 求人を紹介してもらう 知りたい・聞きたい イベント

閲覧履歴 気になる Web履歴書 ログイン 会員登録

転職・求人doda (デューダ) トップ > 人事の転職・求人情報

現在の検索条件 [条件変更]
[キーワード] 「人事」を含む

詳細を見る

人事 の転職・求人検索結果

人事の転職・求人検索結果です。左の求人検索条件にて絞込みができます。

該当求人数 **30,969** 件中 1~50件 を表示

条件で並べ替え

条件で並べ替え

引用: [doda](#)

企業の成長に人材採用は不可欠であり、採用活動を担う人事は欠かせない存在だといえるでしょう。

しかし、全ての企業が人事の募集を広げているわけではないため、注意が必要です。

これらの前提をもとに、次の項目ではまず、人事の業務内容とやりがいについて解説していきます。

■ 人事の業務内容とやりがい

人事の業務内容は多岐にわたりますが、主に以下の4つにまとめられます。

- 人事制度設計・運用
- 人材採用
- 研修制度構築
- 労務

それぞれの業務内容とやりがいについて、解説していきます。

▼ 人事制度設計・運用

企業が成長するには、社員のモチベーションを高く保つ必要があります。そのため社員の成果や働きぶりを評価し、役職や給与を決める評価制度の策定が重要です。

人事は経営陣や管理職などと話し合いを重ね、人事評価の策定から運用までを担います。

会社の成長を左右する仕組み作りに携われるのは、やりがいのひとつといえるでしょう。

▼ 人材採用

会社の発展には人材の確保が不可欠であるため、人材採用を担う人事は重要なポジションです。

採用活動の内容は多岐にわたり、以下のようないがあります。

- 採用計画の立案・実行
- 求人サイトの運営
- 採用イベントの実施
- インターンシップの受け入れ

採用した人材の成長や、会社に貢献する姿に喜びを感じられるのは、採用活動に携わった人事の特権といえるでしょう。

▼ 研修制度構築

人事には、研修や教育制度を構築する役割もあります。

会社が安定的に成長するためには、社員のスキルや経験を伸ばす教育体制が重要です。

研修は経験年数や役職、目的に応じてさまざまな内容を企画、運営しなくてはなりません。

具体的には、以下のような幅広い内容の研修があります。

- 新人研修
- 入社年数ごとの研修
- マナー研修
- 幹部候補研修
- マネジメント研修
- 営業研修

自ら企画した研修によって、社員の成果や成長につながれば、やりがいや喜びを感じられるでしょう。

▼労務

労務は社員が安心して働く環境を作るために、必須の業務です。

主な業務内容は、以下のようなものを指します。

- 給与計算
- 社会保険の手続き
- 勤怠管理
- 就業規則の整備
- 補助金の申請
- 安全衛生管理

近年はメンタルヘルスが注目され、定期面談やストレスチェックなどで社員の心身の状態を把握する企業もあります。

福利厚生や労働環境の整備は、社員の定着率や採用エントリー数の増加に関わるため、人事は会社の基盤を形成する存在といえるでしょう。

■ 人事に向いている人の特徴

人事に向いている人の特徴は、下記のとおりです。

- 人との関わりが好きな人
- 客観的な視点で判断できる人
- 感情に流されずに厳しい判断ができる人
- 求職者のキャリアプランに真摯に向き合える人
- 重要な情報を漏らさない人

どのような人が人事に向いているのか把握して、自身の転職活動に活かしましょう。

▼人との関わりが好きな人

人事は社内外問わず多くの人と接するため、人と関わりが好きな人に向いています。

たとえば採用活動では、イベントやSNSの発信などを通じて、学生や求職者と関わる機会が頻繁にあります。

また、研修を外部に委託する場合は、外部講師と関わる機会もあるでしょう。

従業員とのコミュニケーションも密に取る必要があるため、人との関わりを楽しめて笑顔でいられる人が向いています。

▼客観的な視点で判断できる人

人事はさまざまな立場の人と接するため、客観的な視点で判断できる人が求められます。

たとえば採用活動では、以下のように多様な立場の人と面談するでしょう。

- 時短やパートタイム希望
- 新卒
- 第二新卒
- 中途
- 主婦

採用活動において、採用の可否や配属先を決める際に、会社と求職者のマッチングが重要になります。

そのため、経営上の方針や課題と求職者の両方の視点をもったうえでの判断が必要です。

人事は感覚的な判断ではなく、俯瞰的な視点で考えられる人が適している仕事でしょう。

▼感情に流されずに厳しい判断ができる人

人事の仕事は雇用に関わるため、厳しい判断を求められます。

経営状況によっては、契約社員や派遣社員の契約解除を通達します。また、求職者へ不採用通知の連絡を送る場面も度々あるでしょう。

社員から親しまれる存在として求められる人事ですが、冷静に厳しい対応を取らなくてはならないときもあるでしょう。

そのため、感情に流されず適切な判断ができる人は、人事に向いているといえます。

▼求職者のキャリアプランと真摯に向き合える人

人事は社員の配属先を決める立場にあるため、求職者がどのようなキャリアを描いているのか理解しなくてはなりません。

求職者のキャリアプランを丁寧にヒアリングしなければ、採用後にミスマッチが生じてしまい、早期離職につながる危険があるからです。

場合によっては企業の離職率や評判、求職者のキャリアにも関わるため、重要なポジションといえます。

求職者のキャリアプランに真摯に向き合える人は、未経験であっても人事に向いているでしょう。

▼重要な情報を漏らさない人

人事は企業の機密事項を大量に扱うため、危機管理能力が高く、情報を漏らさない人が適しています。

会社には社員の給与や住所、人事評価など、絶対に外部に漏らしてはならない個人情報が多数存在します。

もし情報を漏えいしてしまえば、会社の信用を失墜させるだけでなく、社員の生活に大きな影響を与えててしまうでしょう。

重要な情報を扱っている責任をもち、重要な情報を漏らさない人は人事に適しているといえます。

■ 人事に必要なスキル

人事に必要なスキルは、下記のとおりです。

- 論理的思考力
- プレゼンスキル
- 質問力
- 傾聴力
- コミュニケーション能力

上記のスキルを身につけることで、未経験からでも人事へ転職できる可能性が高まるでしょう。

それぞれ詳しく解説していきます。

▼論理的思考力

論理的思考とは、物事を整理しながら考え、根拠をもとに結論や主張を導き出す力を指します。

人事は会社の経営に大きな影響を与える、人材採用や評価制度などを担当する仕事です。そのため、あらゆる判断に

論理的な思考が求められます。

たとえば社内規則を変更する場合は、会社の経営課題を把握し、原因の追及や対策の考案、運用までおこないます。しかし、感覚で解決策を出してしまえば、社内に混乱を招いてしまうリスクがあります。

会社への影響力が大きい業務をおこなうため、常に根拠や説得力が必要となるでしょう。

▼プレゼンスキル

人事は社内外問わず、数多くの場面でプレゼンスキルを求められる仕事です。

たとえば、採用活動で学生に会社紹介をしたり、社内で就業規則や社内ルールを説明したりします。

採用活動では、会社の魅力をわかりやすく伝える力が重要です。また、授業員規則や社内ルールの説明では、社員に納得してもらうためにロジカルな伝え方が必要といえます。

会社の顔として表に立つことが多い人事にとって、プレゼンスキルは欠かせないスキルです。

▼質問力

求職者や社員との面談を担当する人事には、高い質問力が求められます。

なぜなら、採用面接で求職者の特徴や会社へのマッチ度を測るためにには、効果的な質問をしなければならないからです。

限られた時間内で相手を深く理解するには、クローズドクエスチョンとオープンクエスチョンの使い分けが重要になります。

求職者の会社への理解度や知識を問う場合は、YESかNOで応えられるクローズドクエスチョンで進行します。考え方や思考力、柔軟性などを図る際は「〇〇については、どのように考えますか？」といったオープンクエスチョンを活用するとよいでしょう。

人と関わる機会の多い人事にとって、質問の内容や方法を効果的に使い分ける質問力は重要です。

▼傾聴力

質問力と同様に、人事には傾聴力も求められます。

面接では求職者の発言から、会社への適性や人材としての魅力を探る必要があるからです。また、社員のメンタルヘルスケアのためにも、面談で丁寧に話を聞くスキルが重要です。

数多くの求職者や社員と接し、一人一人への理解を深めなければ、最適な対応策を打てません。

会社と社員を支える立場の人事にとって、傾聴力は重要なスキルのひとつといえるでしょう。

▼コミュニケーション能力

人事にとって、コミュニケーション能力が最重要といつても過言ではありません。

なぜなら、コミュニケーション能力を求められる場面が、以下のように数多く存在するからです。

- 学生や求職者との面談・面接
- 社員との定期面談
- 転職エージェントや転職サイトの営業とのミーティング
- 経営陣とのミーティング

上記のとおり、役職や立場の異なるさまざまな人と関わり、状況に応じて適切なコミュニケーションを選択しなければなりません。

人事の業務の大半でコミュニケーション能力が求められるため、正しい知識を身につけておく必要があるでしょう。

■【人事経験者が語る】未経験から人事に転職するための方法

未経験から人事に転職するための方法は、次のとおりです。

- スキル・資格を取得する
- 未経験可能な求人にエントリーする
- 書類・面接対策を徹底する
- 転職エージェントから求人紹介を受ける

上記のスキルを身につければ、未経験からでも採用される可能性は高まるでしょう。それぞれの方法について説明します。

▼スキル・資格を取得する

人事への転職は経験や専門知識などが求められるため、難易度は高いといえます。

しかし、スキルや資格を取得すれば実務経験のなさを補えて、採用されやすくなるでしょう。

人事への転職に有利な資格は、次のとおりです。

- キャリアコンサルタント
- 社会労務士
- 産業カウンセラー
- 人事総務検定

上記の資格をもっていれば、戦力として働けるイメージを企業に与えられるでしょう。

とはいっても、資格の取得には時間がかかり、転職までに間に合わない可能性もあります。

その場合は、最低でも資格取得に向けた学習だけでも始めておきましょう。

資格取得に向けて行動していれば、向上心や入社への意欲を伝えられるため、面接や書類選考で有利に働きます。

▼未経験可能な求人にエントリーする

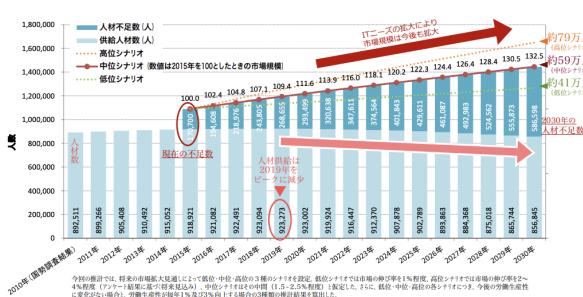
人事への転職は、実務経験や専門的な知識・スキルが問われるため、未経験から転職する難易度は比較的高いといえます。

そのため、未経験可能な求人にエントリーが重要です。

また、これから伸びていく業界や人材確保を課題とする業界を狙うのも効果的です。特に成長性があり、人材が不足しているIT業界は、人材確保のために人事の増員が求められています。

経済産業省が調査した「[IT人材育成の状況等について](#)」では、2030年までに約79万人のIT人材が不足すると発表されています。

IT人材の供給動向の予測と平均年齢の推移



参考:「IT人材育成の状況等について」| 経済産業省

人事の需要があり、未経験からの転職が可能な求人にエントリーすることで、採用される可能性は上がるでしょう。

▼書類・面接対策を徹底する

未経験から人事に転職するには、書類・面接対策を徹底する必要があります。

実務経験や専門性を問われる人事への転職で、仕事内容の理解や適性をアピールできなければ、採用される可能性は低いからです。

書類や面接対策では、人事に関する知識と自身の適性をアピールし、未経験からでも戦力になる根拠を伝えましょう。

中でも、次のようなアピールが効果的です。

- 社内の研修を担当した経験がある
- エクセルやワードの基本操作ができる
- 書類作成や提案文書の作成に慣れている
- 人とコミュニケーションを取るのが好き
- プレゼンススキルが高い
- SNSの活用に長けている

実務経験を補えるだけの知識や適性をアピールできれば、未経験からでも転職に成功しやすいでしょう。

▼転職エージェントから求人紹介を受ける

人事の募集は欠員の補充であることが多く、採用枠は多くて1社あたり1~2名程度です。

数多くの企業に応募したり、書類や面接の対策をしたりするなど、多岐にわたる準備が必要になります。

このような準備を働きながら進めるのは困難なため、転職エージェントを活用するのがおすすめです。

転職エージェントは様々なサポートを用意しており、転職活動を効率的に進められます。

- 求人紹介
- キャリアプランのアドバイス
- 書類添削・面接対策
- 企業とのスケジュール調整

転職活動における準備の質を高め、採用される可能性を上げられるでしょう。

関連記事: 人事の転職に強い転職エージェントサイトおすすめ9社徹底比較 | 転職成功のコツまで

■ 未経験から人事に転職する際におすすめの転職エージェント5選

ここでは、未経験から人事に転職する際におすすめの転職エージェントを紹介します。

BEET AGENT
リクルートエージェント
Ms-japan
マイナビエージェント
doda

■ 未経験から人事に転職する注意点

社員の働く環境やモチベーションを支える人事は、やりがいに溢れ、感謝される仕事です。

しかし、憧れや漠然とした理由での転職には注意してください。

なぜなら、社内外からのクレームやトラブルへの対応、解雇通達など、精神的に負担となる業務も数多く存在するからです。

実際に転職してから、ギャップや精神的ストレスに苦しむ可能性が十分にあります。

転職する際は、人事の業務内容や人員などをよく確認してから入社を決めましょう。

■ 未経験から人事になるには理解力とアピール方法が鍵

未経験で人事に転職するのは難しいといわれますが、仕事内容への理解を深め、必要なスキルや資格などをアピールできれば、転職を成功させられます。

ここで未経験から人事に転職するためのポイントを、再度おさらいしましょう。

未経験から人事に転職を成功させるためのポイント

- スキルや資格を取得する
- 未経験可能な求人にエントリーする
- 書類・面接対策を徹底する
- 転職エージェントから求人紹介を受ける

人事へ転職できれば、会社や社員の成長を支えられて、やりがいに溢れるキャリアを築けるでしょう。

そのために、転職エージェントを活用して効率よく転職活動を進めるのがおすすめです。プロの視点で自身のスキルや強みを分析して、効果的なアドバイスをくれるため、転職の成功に近づきます。

未経験で人事への転職に挑戦したい方は、まずは無料相談から始めてみてはいかがでしょうか。